

特定非営利活動法人 Field of Dreams



多くの人によつて
夢は叶えられる



草津市と高島市を活動拠点とし、スポーツを通じて様々な取り組みをされている「Field of Dreams」。中学生硬式野球チームの草津リトルシニア・パンサーズは、なんと創部3年目にして全国大会で準優勝を果たした強豪チーム。そんな強いチームを創り、育て続ける NPO 団体を取材しました。

スポーツを通じて子どもたちのサポートを

特定非営利活動法人 Field of Dreams は、夢を追いかける少年たちのサポートをするため、プロ野球選手の大家友和さんが中心となり 2004 年に設立されました。“スポーツを通じての社会貢献”を理念に掲げ、中学生と社会人の硬式野球チームを育てる OBC (Ohka Baseball Club)、勉強塾のアスリート学習サポートセンター、地域貢献を目的とした地域総合プロジェクトの事業を 3 本柱とし、子どもたちにスポーツの面白さを伝えるとともに、勉強を楽しく教えながら、夢を実現させるための努力の大切さや素晴らしさを伝えられるよう日々活動されています。

では、なぜこのような活動を始めることになったのでしょうか。副理事長の徳地さんにお話を伺いました。

活動分野 スポーツ

スタッフ数 職員 4名

団体設立 2004年3月

団体ホームページ

<http://www.field-of-dreams.jp/>

夢をもつ子どもたちを後押ししたい

現役選手として現在も活躍されている大家友和選手。小学生の頃に“プロ野球選手になる”という夢を抱き、どんな時も自分を信じて日々練習に励んできたそうです。自身の経験を踏まえ、「夢を追い続け挑戦することの大切さを子どもたちに伝えたい」と、子どもたちが自分の夢と向き合うきっかけ作りとなる“大家友和ドリームツアー”を 2001 年にスタートしました。シーズンオフには立命館大学に通うなど、グラウンドの外でも積極的に活動を続ける中で、次第に野球チームの立ちあげにも興味を持つようになったそうです。そして、その思いを立命館大学の教授に相談したことを機に、夢を追いかける大切さを多くの人と共有し活動する団体として、特定非営利活動法人 Field of Dreams を立ち上げることとなりました。

自分の中での頂点を目指す場所

Field of Dreams の事業の1つである OBC (Ohka Baseball Club) には、中学生・社会人の硬式野球チームがあり、どちらもプロ野球選手を輩出しているほどの実力を備えています。社会人チームの OBC 高島は、やる気のある選手が集う“自分の中での頂点を目指す”チーム、言わばプロ野球選手を目指す集団です。

「高校や大学で野球に打ち込み、“なんとかしてまだ野球を続けたい”という思いで入団した彼らは、チームの寮で共同生活を送りながら、自身の生活を営むために朝から夕方まではそれぞれ違う職場で仕事に取り組みます。練習は仕事が終わる夕方から深夜まで。生半可な気持ちでは、とても続けられません。」

それほど厳しい練習をこなし、夢を叶えた選手もいれば、叶わなかった選手もいます。「自分が納得できるところまで達すれば、踏ん切りがつき、これまでとは違うまた新たな夢に向かって、彼らは挑戦し続けます。」と、徳地さんはまるで選手たちの家族のよう。選手たちにとって Field of Dreams とは、夢を叶える場所でもあり“人生の学びの場所”でもあるのでしょうか。

若者たちの進路選択のひとつになるように

どの試合も目指すは優勝！徳地さんも練習中に選手と同じフィールドに立つと、一緒になって“勝つぞ！”と意気込みます。

「選手や応援してくれる保護者の方々、熱心に教えてくれるスタッフ、みんなが安心して力を発揮できるようサポートすることも私たちのやるべきことなんです。チーム全体が良いモチベーションを保ち、円滑にまわることを最優先に考えています。」

文武両道を方針とする Field of Dreams では、学習塾の「アスリート学習サポートセンター」を開講し、勉学についても手厚いサポートを行っています。さらに、地域イベントへの積極的な参加や、小学生への少人数制野球塾「Base ball アカデミー」を行うなど、地域交流にも力を入れています。

現在は、企業スポンサーやプロ野球選手からの支援、高島市のふるさと納税での寄付金が主な収入源だそうです。「近い将来、この活動に興味を持った若者たちにとって、進路の選択肢のひとつでありたいです。そのためにも、私たちはこの活動において経営を安定させ、これからも夢を持つ子どもたちにとって必要な場所でありたいと思います。」

何事にも全力で挑戦し続ける Field of Dreams の活動に、今後ぜひ注目してみてください。



▼草津リトルシニア・パンサーズの試合の様子



▼草津市まちづくりセンターにてアスリート学習サポートセンターを開講しています



▼地域イベントにも積極的に参加し、地域との交流を図っています

取材*メモ

ホームページを開くと、最初に目に入るのが指で描かれた“夢”に似た文字。

この文字には、「多くの人によって夢は叶えられる」という思いが込められているそうです。夢はひとりでは叶わない。今回の取材を通して、その理由がわかった気がします。

